



2021年11月8日

各 位

上場会社名 東京汽船株式会社
 代表者 代表取締役社長 齊藤 宏之
 (コード番号 9193)
 問合せ先責任者 常務取締役経理部長 佐藤 晃司
 (TEL 045-671-7713)

業績予想の下方修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表した業績予想を下記の通り下方修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,608	△109	△22	36	3.66
今回修正予想(B)	5,229	△313	△171	△73	△7.37
増減額(B-A)	△379	△204	△149	△109	
増減率(%)	△6.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	4,664	△372	△212	△143	△14.40

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,116	△261	△130	△80	△8.12
今回修正予想(B)	10,751	△546	△372	△207	△20.81
増減額(B-A)	△365	△285	△242	△127	
増減率(%)	△3.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	9,889	△621	△340	△94	△9.47

修正の理由

2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、旅客船事業及び売店・食堂事業において売上高は観光需要期である夏場に持ち直し増収となったものの、緊急事態宣言等の長引く自粛要請や天候不順の影響もあり予想を大きく下回り、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は下振れる見込みとなり下方修正いたします。

通期の連結業績予想につきましては、曳船事業は回復途上であるものの旅客船事業においては、感染再拡大の懸念もあり利用客が本格的に回復するには時間を要するものと思われます。また、費用面で原油価格が上昇基調となっており、為替の円安傾向と相まって連結グループ全体で燃料費の増加が予想されるため2021年5月14日に公表いたしました業績予想数値を下方修正いたします。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上